

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

# 生存権かけ二期を実力で阻止する

## 9・15三里塚現地総決起集会に決起！ 10・11全国総決起集会へ結集しよう



闘う人民の闘いにより  
二期は今だにできない

1 北原事務局長 1



北原事務局長  
局長が挨拶にたち「公団が八七〇億の概算要求を出したが、闘う人民が闘う体制を有し、共に軍事空港粉砕、二期阻止にすべてをかけた闘ってきたからこそ二期は今だにできない。自分の生存権かけて闘いぬくことが二期決戦勝利に結びつく。共に勝利まで闘う」と反対同盟の不動の決意を明らかにした。



市東さん  
つぎに、敷地内で闘う市東東市さんが発言を行い、「戸村さんが言ったように、強固な団結のもとどんなことがあっても三里塚闘争は勝利をかちとる。二一年の闘いがかわるどころか増増決意を固めている。最後まで闘う」と農地を武器に非妥協で闘うことを訴えた。



郡司さん  
さらに、婦人行動隊の郡司とめさんが発言し、「三里塚闘争は農民主体ではあるが、全国のみなさんが力を合わせて（空港を）ここまで追いこんできた。今後もうこういう手段と方法で勝ちぬ

九月十五日、動労千葉青年部は、三里塚闘争支援連絡会議主催による「9・15現地総決起集会」に参加し、労農連帯の絆をさらに固め、「10・11全国集会」を突破口にして、二期工事阻止・空港廃港まで闘うことを確認し、集会・デモを貫徹してきた。

連続闘争に決起し  
10・11の大爆発を  
1 青年行動隊 1



鈴木さん  
また、芝山町議としても闘いぬく鈴木幸司さんは、「同盟は今までにない闘い、空港をつくらせない闘いをつくってきた。同盟、支援ともに闘う姿勢がつくられた。本心に心をひとつにして、空港をつくらせない闘いが反動政治をくつがえす」と結末の強化を訴えた。



宮本さん  
七月、八月、九月と連続的に実力闘争を闘う青年行動隊からの決意表明が行われ、まず青年行動隊長の宮本衛さんは「九月十三日に山砂搬入阻止実力阻止を闘った。連続闘争に決起し二期決戦を闘う。10・11の大爆発をかちとろう」と語った。



鈴木さん  
つぎに、鈴木賢太郎さんは「9・13の山砂搬入阻止闘争は、今までより速度をかえて闘った。これからは青年行動隊、反対同盟とともに闘う」と決意を語った。



伊藤さん  
さらに、伊藤信晴さんは「これまで青年行動隊は、実力闘争を実践的に闘いぬいた。この間の一部の者の記者会見で語られている、労農学共闘を否定し、実力闘争をないがしろにすることは絶対許せない。10・11の大爆発がともめられている」と激しく語った。

脱落許さず闘いぬく  
1 婦人行動隊 1



反対同盟の最後に婦人行動隊員六よ名が壇上に立ち発せ言を行った。まず小林なつさんは、「市東さん、加藤さん、萩原さんが頑張っている以上滑走路はできないと確信も固く語り宮本満子さんは、「脱落した人たちを許さない。私たちが最後まで闘う」と力強く語った。伊藤しのぶさんは「9・4の四人脱落は、私たちに打撃はない。思う存分闘えると思っている」と明らかにし、さらに、木内敦子さんは「脱落したグループを許さない。これからは共に闘う」と発言。そして、鈴木加代子さんは「婦人行動隊は、青年行動隊、同盟と共に最後まで闘う」と語り、最後に、萩原静江さんは「小川グループの脱落に対する怒りは言葉に表わせない。この怒りを10・11にむけて闘う。市東さん、加藤さん、そして自分のところは権力に土地をわたすことなく闘う」と決意を鮮明にした。

反対同盟の発言をうけて、さらに弁護団、北富士忍草母の会、動労千葉、動労水戸、婦人民主クラブ全国協議会、東京実行委員会、沖縄民権の会、木の根全国共闘、二期阻止全国共闘、そして支援団体の決意表明が行われた後、東峰から天神峰へぬけるデモを断固として貫徹した。

訂正：前号NO.258の日付18日を19日に訂正します。